

# 秋田の土地改良

# 10

2012・OCT



「園児によるイモ掘り体験」あきた体験農園 (H24.9.18)

東日本大震災の被災地の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。



## がんばれ東北! がんばろうニッポン!!

目次

平成25年度農業農村整備事業予算概算要求の概要……………	2	あきた体験農園「保育園児によるイモ掘り体験」……………	11
土地改良区統合整備事例研修会が開催される……………	4	平成24年度土地改良関係団体役員講習会の開催日程について…	11
秋田県土地改良区統合整備検討委員会が開催される……………	5	特集：農業水利施設内の「ゴミ」問題(シリーズ⑩)……………	12
TPP県民フォーラムを開催!……………	5	特集：地域からの情報発信(水土里レポーター・三浦誠樹)……………	13
平成24年度東北管内耕作放棄地事例発表研修会……………	6	水土里情報システムの新たな活用!……………	14
21創造運動の取り組み(活動報告)……………	6	会員だより……………	15
水土里のみちウォーキングin抱き返り溪谷……………	9	連合会日誌、インフォメーション……………	16
金足農業高校インターンシップ受け入れ……………	10		



●発行所 秋田県土地改良事業団体連合会 〒010-0967 秋田市高陽幸町3番37号  
TEL 018-888-2750(代) FAX 018-888-2834  
<http://homepage2.nifty.com/akidoren/>



## 平成25年度農業農村整備対策予算

# 概算要求の概要

平成25年度農業農村整備対策予算の概算要求額は、2,428億円(対前年度比114.0%)に決定した。対策のポイントに「農地」と「水」を最大限に活用した農業の体質強化と農村地域の活性化を掲げ、主要事項を位置付けている。

### 総括表

### 農業農村整備対策予算について

(単位:億円)

事 項	H24年度当初予算	H25年度概算要求	対前年度比
農業農村整備事業	2,129	2,428	114.0%
①農業水利施設の保全・管理	1,442	1,487	103.1%
②食料自給率の向上に資する基盤整備	436	653	149.6%
③農地の防災保全	251	289	115.1%
農地・水保全管理支払交付金 うち向上活動支援交付金(長寿命化対策)	62	96	155.5%
農業体質強化基盤整備促進事業	220	220	100.0%
復興特別会計分	280	441	157.8%
計	2,691	3,186	118.4%

※1 「復興特別会計分」は農業農村整備事業、農山漁村地域整備交付金及び農地・水保全管理支払交付金(復旧活動支援交付金)の要求額の合計。

※2 計数は四捨五入によっているので、端数においては合計とは一致しないものがある。

### 主要事項

#### ①農業の体質強化に向けた基盤整備の推進

■「人・農地プラン」と連携しつつ、水田の大区画化・汎用化等の基盤整備を推進し、中心経営体への農地集積や農業の6次産業化を促進

戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業

6次産業化等促進基盤整備事業〔新規〕

国営農地再編整備事業

■自力施工による暗渠排水等の農地整備や老朽施設の更新等をきめ細かく実施

農業体質強化基盤整備促進事業

#### ②農業水利施設の戦略的な更新整備の推進

■基幹水利施設の長寿命化対策と施設の統廃合や省エネ化を推進。また、中心経営体の水利用・水管理の効率化・省力化を図るため、水路の再編・パイプライン化等を推進

国営かんがい排水事業

戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業(再掲)

農業水利施設保全合理化事業〔新規〕

#### ③農村地域の防災・減災対策の強化

■排水機場・排水路等の整備や基幹水利施設・ため池等の長寿命化・耐震化を、集落協働の減災対策と組み合わせる推進

国営かんがい排水事業(再掲)

国営総合農地防災事業

戸別所得補償実施円滑化基盤整備事業(再掲)

震災対策農業水利実施整備事業

## ④農村の協働力や地域資源の活用

- 農地周りの水路等の長寿命化のための補修・更新や、地域環境の保全等の高度な取組を行う集落を支援  
農地・水保全管理支払交付金(うち向上活動支援交付金)
- 農業水利施設の更新・整備に併せた小水力発電施設の整備や用排水施設の省エネ化等のエネルギー効率の最大化を推進、発電適地調査、発電施設の調査設計・導入等の取組を支援  
小水力等再生可能エネルギー導入推進事業  
国営かんがい排水事業(再掲)  
国営総合農地防災事業(再掲)  
戸別所得補償実施円滑化基準整備事業(再掲)

## 農業農村整備事業

【242,815 (212,939) 百万円】

(上記のほか復興特会計上分 43,164 (25,291) 百万円)

## ●対策のポイント

「農地」と「水」を最大限活用するための基盤整備を推進し、我が国農業の再生を図るとともに、災害に強い農村地域を構築する。

## 政策目標

- ・ 基盤整備実施地区の中心経営体への農地集積率8割以上(28年度)
- ・ 基幹水利施設の機能診断済み割合 約4割(22年度)→約7割(28年度)
- ・ 湛水被害等の災害のおそれの解消 約10万ha以上(28年度)

## 農地・水保全管理支払交付金のうち 向上活動支援交付金

【9,584 (6,175) 百万円】

(上記のほか復興特会計上分 745 (617) 百万円)

## ●対策のポイント

地域共同による農地・農業用水等の資源の基礎的な保全管理活動や、施設の長寿命化のための活動等に対して支援する。

## ＜主な内容＞

1. 施設の長寿命化のための活動や高度な農地・水の保全活動等への支援

## 農業体質強化基盤整備促進事業

【22,000 (22,000) 百万円】

(上記のほか復興特会計上分 150 (602) 百万円)

## ●対策のポイント

畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の農地の整備、老朽施設の更新等の農業水利施設等の整備をきめ細かく実施する。

## ＜主な内容＞

1. きめ細かな基盤整備による農業の体質強化
2. 狭小区画農地の整備を迅速・安価に行う「簡易農地整備」の推進

# 土地改良区統合整備事例研修会が開催される



7月27日(金)秋田県庁第二庁舎大会議室に於いて、県農林水産部農地整備課主催の土地改良区統合整備事例研修会が、県内土地改良区役職員及び関係者を含め、170名の出席で開催された。

主催者として、県農林水産部農地整備課下山課長が、「県では、統合整備基本計画を策定して合併を推進しているところである。活用できる補助金もあるので積極的に検討してほしい。また、土地改良区のあるべき姿について、公共団体としての土地改良区という視点、農家のためになっているかという視点で日々自問自答する姿勢が重要である」と挨拶。

その後、事務局から「現行の統合整備計画は、来年度、改定する予定であり、各土地改良区が求められる役割を十分に果たすことのできる組織となるよう、計画の改定にあたっては、県の審議機関である「土地改良区統合整備検討委員会」の意見を取り入れながら、地域の統合整備原案に基づき、県が現計画を見直しすることとしている。本日の統合整備事例研修会は、地域における話し合いの前に、合併に関する基本的知識や考え方、土地改良区の組織運営基盤の充実強化の重要性について理解していただくために開催した」と趣旨説明があり、講演、事例発表及びパネルディスカッションが行われた。研修内容は以下のとおり。



## 研修内容

### 講演

「宮城県における土地改良区の合併事例について」

宮城県土地改良事業団体連合会総務企画部次長 石垣 康博

### 事例発表

「大館市土地改良区の合併事例について」

大館市土地改良区事務局長 石田 誠孝

### パネルディスカッション

「求められる土地改良区であるために」

- |         |                 |       |
|---------|-----------------|-------|
| ○アドバイザー | 宮城県土連総務企画部次長    | 石垣 康博 |
| ○パネリスト  | 大館市土地改良区事務局長    | 石田 誠孝 |
|         | 秋田県立大学生物資源科学部教授 | 長濱健一郎 |
|         | 秋田県土連常務理事       | 水戸 憲光 |
| ○司会     | 秋田県農林水産部農地整備課長  | 下山 昇  |

## 秋田県土地改良区統合整備検討委員会が開催される



統合整備の推進により、土地改良区の一層の運営基盤の強化を図ることを目的に、統合整備に関する基本方針等を検討する「秋田県土地改良区統合整備検討委員会」が6月に設置された。(委員長:秋田県立大学 長濱健一郎教授、所管:県農林水産部農地整備課)

この委員会の初会合である、第1回土地改良区統合整備検討委員会が、7月19日(木)に秋田地方総合庁舎で開催され、土地改良区の適切な運営のための意見を幅広く求めることが有効との意見が多く、今後、アンケート及び地区別意見交換会を実施することとなった。

### 【出席委員】

- 長 濱 健一郎(秋田県立大学生物資源科学部教授)…委員長
- 粕加屋 俊 夫(元横手市産業経済部次長)
- 由 利 傳(湯沢市中央土地改良区理事長)
- 田 中 美智子(秋田県仙南土地改良区事務局長)
- 田 畑 政 光(大館市産業部長)
- 小 島 武 志(秋田市農林部長)
- 水 戸 憲 光(秋田県土地改良事業団体連合会常務理事)…副委員長

### 【主な意見】

- 地区別意見交換会では、多くの土地改良区に参加してもらうことが大事。初めから「統合整備推進」を掲げるのではなく、土地改良区の適切な運営のための意見を幅広く求め、検討するべき。
- 地域の農業を守っていくためには農業基盤整備が必要。土地改良区の合併は、国や県の大規模な事業に対応するための手段の一つだと考えている。
- どうすれば土地改良区が納得できる形で統合整備を進めることができるのかを検討するのが先決。
- 議論を進めるために「目的」の提示は必要。何に向かっているかを明確にすることで、話し合いからの離脱も防げる。合併ありきでないとすれば、アンケートの表題を含めて再検討が必要。
- アンケートや地区別意見交換会では、土地改良区の役員だけでなく職員の参加も求めてはどうか。
- 幅広く「農地という地域の財産」を守っていくためには、どうしたら良いかということについて意見を求めることが有効。この趣旨に基づきアンケート調査及び地区別意見交換会を実施すべき。

## 許すな壊国TPP！守ろう地域経済

### 秋田県民フォーラム

8月10日(木)、秋田市文化会館大ホールにおいて、水土里ネット秋田など県内農林漁業関係団体、消費者団体、商工団体、建設業団体などで構成される「食料・農業・環境を守る秋田県民会議」の主催で、「許すな壊国TPP！ 守ろう地域経済 秋田県民フォーラム」が開かれ、1,000人を超える参加者があった。

フォーラムは、JAあきた北女性部による「そうだったのか、TPP」の寸劇に始まり、主催者を代表しての県JA中央会木村会長の開会挨拶、JA全中小林農政部長による情勢報告、構成団体関係者5人によるリレーメッセージ「私たちはTPP参加に反対します」と続いた。

その後、拓殖大学日本文化研究所の関岡客員による基調講演「TPPが及ぼす食・国民生活への影響」が行われ、最後にTPP参加の断固阻止に向けた強力な運動展開の申し合わせを、満場一致の拍手で確認し、閉会した。

## 第4回

## 東北管内耕作放棄地解消事例発表会

9月13日(木)～14日(金)の両日、本県の仙北市を会場に「第4回東北管内耕作放棄地解消事例発表会」が、東北各県から関係者166名が参加のもと開催された。

13日には、仙北市民会館を会場に事例発表が行われたが、発表に先立って、東北農政局農村計画部長、秋田県耕作放棄地対策協議会長、仙北市農業委員会長の挨拶が行われた。この中で、秋田県耕作放棄地対策協議会長(本会黒子専務理事)は、「食料自給率をアップすべきという議論について総論賛成としながら、統一的な実行プログラムを策定できず、未だに先進国中最低のレベルにある。世界の気象変動を原因の一つとする現在の穀物価格高騰は、食料供給システムに変調をもたらしている。私共の取組みは、やがて到来すると考えられる食料危機を念頭に置いて、地域に発生した不作付け農地をもう一度再生させ、二次加工に繋げるという地道な活動である。輸入食品に依存せず、地産地消を進めることが、食料自給率の向上に繋がると考えている」と述べた。

続いて、農林水産省耕作放棄地活用推進室杉原課長補佐の「情報提供」、秋田県立大学長濱教授の「基調講演」、県内で耕作放棄地の再生事業を、積極的に実施している農業生産法人「合同会社大地」の代表者ら、4氏による「事例発表」等が行われた。

14日には、「大地」が本年度から、仙北市玉川ぶな森地区で牧場が廃止され荒廃した農地で、解消面積120haを目標に「菜の花」、「そば」を作付けしている状況を現地視察した。

## 平成24年度

## 「21創造運動大賞東北地方選考委員会」が開催される!!

— 本県から水土里ネット仁井田堰が参加 —



8月20日(月)、仙台市(KKRホテル仙台)で「平成24年度21世紀土地改良区創造運動大賞東北地方選考委員会」が開催され、今年度の東北地方大賞並びに中央選考委員会への推薦地区(2地区)が決定した。

大賞の選考方法は、①都道府県水土里ネットによる第一次選考、②農政局ブロック単位による地方大賞並びに中央選考委員会への推薦地区(最大2地区)の決定、③中央選考委員会による21創造運動大賞の審査・決定、となっている。

当日は、東北各県水土里ネットより推薦された6水土里ネットが、それぞれ10分間のプレゼンテーションを行い、その後約10分間、選考委員からの質問に回答するという形式で行われた。本県推薦の水土里ネット仁井田堰(秋田市)は4番目にプレゼンテーションを行い、4名の選考委員から、「耕作放棄地対策」、「農地・水向上対策」の活動組織等と連携した背景及びその効果、今後の運動に対する展開方向などについて質問を受けた。

審査の結果、本県の水土里ネット仁井田堰は、これまで10年間継続実施している「水土里の路ウォーキング in 仁井田堰 walk」を通じた地域資源の発信活動等で、委員から高い評価を得たものの、惜しくも「奨励賞」となり、中央選考委員会へ推薦されなかったが、地元小・中学校、行政機関を始めとする多様な組織との間で他の地区の範となる連携体系が構築されており、地域をコーディネートする水土里ネットとして、今後も、新たな視点での運動展開を含めた活動が期待されている。



### 東北地方選考委員会選考結果

- **地方大賞** 水土里ネット大倉川（宮城県）、水土里ネット矢吹原（福島県）
- **奨励賞** 水土里ネット五所川原市南部（青森県）、水土里ネット須川（岩手県）  
水土里ネット仁井田堰（秋田県）、水土里ネット白鷹町（山形県）

## 21世紀土地改良区創造運動

### 県内の活動事例

水土里レポーター：水土里ネット雄物川筋 吉田一則



### ① 皆瀬川に鮎の稚魚を放流 in 皆瀬頭首工

6月12日（日）、秋田県横手市立増田小学校1年生児童（48人）による鮎の稚魚の放流が、皆瀬頭首工で行われました。

この活動は、学校近くを流れる皆瀬川に、鮎の稚魚の放流を通して自然環境の大切さや、生物の尊さを感じてもらおう事を目的としており、地元漁業協同組合や関係機関の協力を得て、今年で3年目を迎えます。

児童一人ひとりに稚魚の入ったバケツが手渡されると、バケツの中で元気良く飛び跳ねる稚魚に驚きながら、体長約10cmに育った鮎（約7千匹）を代わるがわるの交替で放流しました。

放流後、児童たちは川に向かって「元気に育ってね！」「美味しくなってね！」など思い思いの声援を送っていました。

その後、皆瀬頭首工の施設見学会も行われ、管理棟内に展示してある頭首工周辺で捕獲された昆虫の標本を興味津々に観察していました。

入学してから初めての野外学習となったこの活動は、子供たちにとって良い思い出になったと思います。





## ② 皆瀬1号幹線用水路(緑化活動) ～商店街を花いっぱい～

秋田県横手市十文字町の商店街沿いを流れる、皆瀬1号幹線用水路の水路敷地を活用した花の植栽が、7月5日(木)に行われました。

この植栽活動は、商店街を縦断している危険でもあった用水路が、国営事業を期に開水路から暗渠水路に改修されたものの、少し寂しげな商店街を花の力で明るくしようと、「十文字歩道の美化を考える会」が主催となり実施しているもので、今年で4年目を迎えます。

当日は、小雨が降るあいにくの空模様でしたが、地域住民や関係機関から72人に参加していただき、幅2.4m・長さ223mにわたり、6種類、約3,000株が一株一株丁寧に植えられました。

この花は、11月の雪が降る直前まで咲きほこり、道行く人を楽しませてくれることでしょう。



## 平成24年度「職員研修会」を開催!!

### ■秋田県土地改良事業団体職員会が研修会を開催!!

8月31日(金)、秋田県土地改良事業団体職員会(会長鈴木英弘)主催による「平成24年度職員研修会」が、まだまだ残暑の厳しい中、能代市を会場に実施され、県内土地改良区の職員約70名が参加した。

この研修会は、各職員の資質の向上を図るとともに親睦の輪を広げようと毎年企画されているもので、今回は能代市を訪れ、初めて視察研修のスタイルで実施された。

研修では、初めにJAXA(能代ロケット実験場)を訪れ主な実験施設を視察したほか、東北電力能代火力発電所では、室温50℃にもなる操作室で汗だくになりながら説明を受けた。午後は、県内唯一の野菜専門の農業生産法人「有限会社大和農園」を視察し、炎天下の中、農園まで徒歩で移動し、生き生きと育つ野菜の成育状況などを視察し、砂丘畑での栽培方法などについて説明を受けた。

参加者は、暑い中ではあったが普段訪れることがない施設の視察を行ったり、特徴ある野菜栽培方法を目にして、普段直接的には接することがない幅広い分野の見識を習得していた。





## 第1回

水土里のみちウォーキング  
in抱返り溪谷

— 原生林の中の青い溪流美を散策 —



9月9日(日)、仙北市田沢湖卒田、抱返り溪谷付近を散策する「第1回水土里のみちウォーキングin抱返り溪谷」が開催された。

今年、初開催となるこのイベントは、仙北市神代地域の「温泉ゆぽぽ」を出発して、抱返り溪谷の「回顧の滝」までを自分のペースで歩きながら、農業水利施設の役割と豊かな自然を再発見するもので、水土里ネット大曲仙北職員会が

主催し、県仙北地域振興局、水土里ネット秋田、水土里ネット仙北平野、水土里ネット田沢疏水、水土里ネット七滝の共催で行われた。

今回は、約6.8kmのコースに72人の参加があり、約2時間30分の散策を楽しんだ。出発時、あいにくの小雨に見舞われたが、スタートして間もなく天候も回復し、



さわやかな秋晴れの下、参加者は普段立ち入ることのできない玉川頭首工の管理用歩廊をとおり、畦道を歩きながら溪谷へ向かい、抱返り頭首工の操作室見学など、土地改良施設の役割や地域の歴史などを学んだ。

家族3人で参加した方は「大小の滝や原生林の緑を楽しむ事ができて良かった。また、子供を連れて来たい」と話していた。

このイベントを、ぜひ来年度も開催して県内でも有数の参加規模のウォーキング大会となるように期待します。



## 平成24年度秋田県土地改良事業推進大会

◆平成24年11月2日(金) 午後1時00分

◆能代市「能代市文化会館」 能代市追分町4-26

## 平成24年度 インターンシップ受け入れ

県内高校生を対象とした今年度のインターシップ(就業体験学習)の受け入れを、7月30日～8月1日の日程で本会事務所や美郷町並びに由利本荘市の現地で実施した。

この度の実習生は、県立金足農業高校環境土木科2年生3名で、一行は3日間の実習内容のレクチャーを受けた後、本会職員の指導のもと、普段学校では使うことのない測量器械などに触れながら実習を行った。

○1日目 GPS測量機による基準点測量の実習(美郷町千畑大畑地内)

○2日目 午前：集落排水管路設計用平面測量のための基準点測量(由利本荘市東由利)  
午後：農業水利施設についての研修(由利本荘市)

○3日目 ほ場整備事業の設計演習(水収支計算)

3日間の実習では、GPS測量機などの最先端の技術を使つての測量実習、ため池の取水施設や頭首工、簡易除塵機等の農業水利施設の見学研修などを行い、普通の学校の授業では得られないものを自ら体験した。

インターシップに参加した生徒は、「学校ではやったことのない測量等を経験できた」、「知らないことをたくさん得ることが出来て、よい経験になった」、「今回指導してもらった事を学校の実習で生かしていきたい」などと実習を終えての感想を話していた。



### 《夏休み後に届いた生徒からの礼状》

先日はお忙しい中、職場体験をさせてくださり本当にありがとうございました。この体験は私の将来を考える上で、とても貴重な体験でした。特に、GPS測量機器の据え付けなど、学校では学べない事を学ばせていただきました。この体験をこれからの高校生活にも生かし、ますます励んでいきたいと考えております。

これからも何かの機会にお会いすることがありましたら、今後ともよろしく申し上げます。(抜粋)

# 「あきた体験農園」の取り組み状況

## 秋晴れの中で、「あおぞら保育園」のサツマイモ掘り体験 ～平成24年度活動報告～



「あきた農業体験施設(市民農園・教育ファーム)」では、9月18日、秋晴れの下で約18名の会員・あおぞら保育園(年長組の皆さん)25名が参加して、春に植え付けした「サツマイモの収穫」が行われた。約250㎡(3畝)のサツマイモを参加者全員で土を掘り起こしながら収穫し、その後選別作業も行われ、さわやかな汗をかきながら「お芋おいしそうだね」と笑顔で話していた。

また、今年の第135回秋田県種苗交換会(能代市)で開催される「農業農村整備フェア」には、この日の収穫体験の様子を描いた園児たちの「サツマイモ掘りの絵」を展示する予定になっている。あきた農業体験施設では、11月3日に予定している収穫祭に向けて、今後は「里芋の収穫」や「白菜の生育管理」などの実施を予定している。



【担当・問合せ先】 あきた農業体験施設(市民農園・教育ファーム)事務局  
 水土里ネット秋田 総務企画部内 TEL.018-888-2712 FAX.018-888-2834

## 平成24年度土地改良関係団体役職員講習会の開催日程について

管内	開催日	開催地
鹿角、大館・北秋田(職員)	11月8日(木)	鹿角市 「鹿角市交流センター」
仙北(職員)	11月9日(金)	仙北市 たざわこ芸術村「温泉ゆぼぼ」
鹿角、大館・北秋田(役員)	11月14日(水)	鹿角市 「鹿角市山村開発センター」
仙北(役員)	11月14日(水)～11月15日(木)	仙北市 田沢湖高原温泉「プラザホテル山麓荘」
山本	11月15日(木)	能代市 「キャッスルホテル能代」
平鹿	11月16日(金)	横手市 「松興会館」
秋田(役員)	11月26日(月)	秋田市 「ホテルメトロポリタン秋田」
由利	11月27日(火)	由利本荘市 「本荘グランドホテル」
雄勝	11月29日(木)	湯沢市 「湯沢グランドホテル」
秋田(職員)	12月7日(金)	秋田市 秋田温泉「秋田温泉プラザ」

【特集】

## 農業水利施設内の「ゴミ」問題

▶▶ シリーズ⑪

## 農業水利施設の「ゴミ」問題に対し、水土里ネットの生の声を聞くことができました。〈アンケート調査結果より〉

### 〈鹿角管内〉

- 農業施設に生活ゴミがかなり多く混入しております。農家の人だけではなく地域住民の人達ももっと身近な問題として考えてくださるような体制作りをしていかないと、安全・安心な作物はできないと思う。

### 〈大館・北秋田管内〉

該当なし

### 〈山本管内〉

- 水土里ネット関係者には、「ゴミゼロ」運動の周知がされてきているが、一般住民の協力が絶対不可欠であることを考えると、地域住民への周知方法を工夫する必要があると思う。
- 今後のために必要だと思う。
- 町と共に取り組みたい。

### 〈秋田管内〉

- 各地域の取り組み等をお聞きしたい。
- 広範囲なマスコミキャンペーンが必要と考える。
- 会員相互で注意している。
- すぐには改善しないと思うが、継続していくことが重要だと思う。
- 効果があると思うため、今後も実施してほしい。

### 〈由利管内〉

- 各土地改良区では、年1回「土地改良区だより」を発行している。組合員への啓発活動を含め「ゴミゼロ」運動について、統一的な内容を示していただければ「土地改良区だより」に掲載していきたい。

### 〈仙北管内〉

- 粗大ゴミ等の不法投棄が増加している（特に山間部）。監視カメラの設置は費用の問題で困難である。各水土里ネットによる啓発活動は大変重要であると考えます。
- 毎年、春の水路清掃時、組合員に対して水利用についての文書を配布しているの、農家の方々はある程度理解していると思う。今後は、非農家に対して農業用水は、地域用水としても重要である旨の周知が必要と考えている。
- 取り組み事例を多く紹介してほしい。
- 「ゴミゼロ」運動の強化でゴミが減ることに期待したい。
- 「ゴミゼロ」ののぼり旗は他土地改良区でどのように利用しているのか、情報があったら広報誌に掲載していただきたい。

### 〈平鹿管内〉

- 年々、水路にゴミの投棄等も増えてきているので、「ゴミゼロ」運動は継続していただきたい。
- ゴミ問題については地道な活動が必要とされるので、引き続き啓発活動を進めていかなければならないと思う。
- 個人個人の意識改革が必要だと思うので、公共的な取り組みが必要と思う。

### 〈雄勝管内〉

- モラルの低下もゴミが増える要因の一つなので、「結果こうなりますよ」というように、地元市報や魁新聞等で頻繁に啓発するのも意識改革につなげるのではないかな。
- 「ゴミゼロ」運動ご苦労様です。まだまだのぼり旗等は検討しますので、よろしくお願ひします。
- 一番簡単で難しいのが、一人一人がゴミを捨てないようにする事だと思うが、(看板等の設置もあまり効果がない)子供たちはゴミ捨て防止の標語コンクール等に応募してくれたりしているので捨てないが、大人の人達が(特にお年寄り)捨てるので、子供達を通じて捨ないようにPRしていくと良いと思う。

## 「農地・水環境保全組織」との連携



「横手市横手地域 農地・水・環境保全組織（南旭川）」



「山田五ヶ村地域 農地・水・環境保全管理組織（山田五ヶ村）」



【担当・問合せ先】 秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会事務局  
水土里ネット秋田 総務企画部内 TEL.018-888-2748 FAX.018-888-2834

特集

地域からの  
情報発信

# 能代市『おなごりフェスティバル』 — 行く夏を惜しむ恒例イベント —

水土里レポーター 三浦 誠樹  
(秋田県能代地区土地改良区)

秋田県北部に位置する能代市の恒例イベント「おなごりフェスティバルin能代2012」が、今年も「東北から元気」をテーマに、9月7日(金)・8日(土)の2日間に渡って開催されました。

今年は節目の25回目を数え、能代市畠町通りを会場に県内外の祭りが集まり、常連出演の「青森ねぶた」、「盛岡さんさ」、「浅草カーニバル」、「秋田竿燈まつり」「能代七夕」などの参加に加え、岩手県大船渡市から「盛町灯ろう七夕」が初出演し、東日本大震災からの復興を力強くアピールしていました。また、9月7日の前夜祭には、ミッキーマウスなどのディズニーキャラクターが出演してスペシャルパレードを行い、多くの見物客が押し寄せていました。主催者発表によれば、二日間で約50万人の見物客が訪れたそうです。



当日は、東日本震災被災3県の支援ブース、秋田B級グルメ屋台が設けられ、日中から多くの人々が詰めかけていました。夜のメインイベントの時間が近づくと会場は人垣でいっぱいになり、家族連れや友人グループの熱気と興奮に包まれていました。

午後6時、のろしを合図に会場北端から能代駅前方面に向かって、「盛岡さんさ」、「浅草カーニバル」、「青森ねぶた」などが次々とスタートします。一般から募集したハネト(踊り手)が後に続きます。

同じく反対側からは、マーチングバンド、能代一中、能代二中の生徒がはやしを響かせながら七夕の灯ろうを曳き始めます。躍動的な乱舞と勇壮華麗な夏祭りのパレードが通りを埋め、例年同様午後9時まで会場は興奮のるつぼと化していました。見物客の誰もが目の前を勇壮、華麗に練り歩く各地の祭りを満喫し、去りゆく夏をなごり惜しんでいるようでした。



この大規模なイベントを主催する実行委員会は、ほとんどが無償のボランティアスタッフや地元の有志で構成されているそうです。経済不況や高齢化などの問題から、実行委員会のメンバーに掛かる負担も大きくなっているものと思われますが、このイベントは、単に商業的な目的だけではなく、各地域の伝統と文化を育み、次代を担う子どもたちに引き継いでいくという重要な役割を担っていると思います。自分も一人の地域住民として、来年以降もこのイベントが盛大に行われるよう期待しています。(写真提供:能代市)

# 「水土里情報システム」の活用について

## ■現地調査システムの活用事例(三種町)

9月12日(水)、三種町山本地区で町職員や農業委員会、JAなどの関係者約20名が参加して、携帯タブレット機を使用した、転作農地の現地調査が行われた。

調査は、タブレット端末を現場に持ち込み、画面上に地番図や航空写真を表示し、端末のGPS機能で現在地を把握することで、調査対象となる農地や水利施設を容易に特定することが可能となる。

今回の調査では、関係者が3班に分かれ、タブレット端末を現地に持ち込みながら転作農地の地籍地番、転作作物(ソバ、大豆など)の生育状況などの確認作業を行った。各現場では水土里情報の図面情報や農地情報を見ながら、現在地を把握し



現地調査の様子(三種町)



水土里タブレット

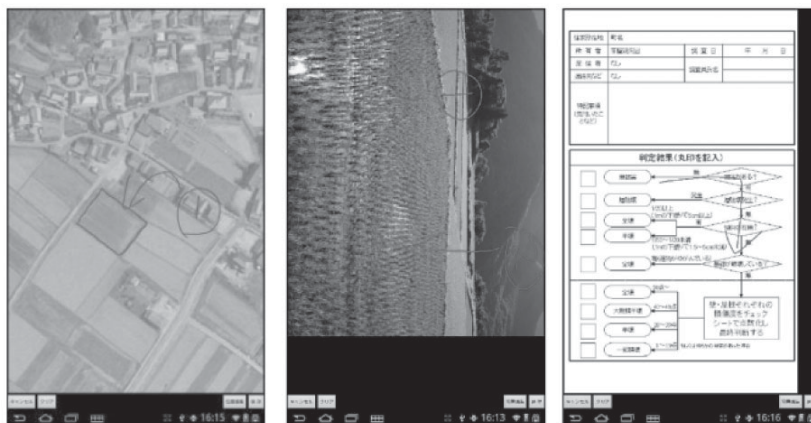
簡単に地籍地番等の確認が出来ることから、作業担当者からは好評を得ていた。

本調査は、本会で運営している「水土里情報システム」の新たな活用方法として実践されたもので、県内では初の試みとなった。今後は、現場作業における作業時間の短縮、人員削減等にも大きな効果が期待されている。なお、本会ではタブレット端末を5台保有し、要望に応じて「水土里情報システム」の加入団体に貸出(有料)して行くことにしている。

### 主な機能

- GoogleMapsのようにタイル化された地図の高速表示
- ※NTT空間情報(株)提供のGEOSPACE電子地図及び航空写真(~1/1,000)を利用
- ポイント・ライン・ポリゴンの地物登録、写真撮影・手書きメモ入力可能
- タッチパネル端末採用により直観的な操作が可能
- オフラインで地図表示や情報収集が可能(収集結果はファイルを渡す方式)
- 地図はオンライン(3G、無線LAN)の取得が可能

### 【手書きメモ入力例】(地図、スキャン画像・写真への手書きメモ)



### 【現地調査システム(水土里タブレット)利用料金】

区分	基準単価(円)	適用
1業務当たり	54,000	定額
1ヶ月/台	12,000	台数、月額

### (適用範囲)

本表は、現地調査システム(水土里タブレット)のシステム設定、利用料とします。

また、本表は水土里タブレットに登録する基本データの入力とし、その他カスタマイズする場合は別途相談をお願いします。

【担当部署】 水土里情報センター室(水土里ネット秋田 管理情報部内)  
TEL.018-888-2737 FAX.018-888-2835

## 会員だより

### 新理事長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長に就任されました。

- 稲川土地改良区(H24. 8. 2)  
理事長 瀬川 等
- 八郎潟土地改良区(H24. 8. 10)  
理事長 畠山 一孝

### 土地改良区事務所移転のお知らせ

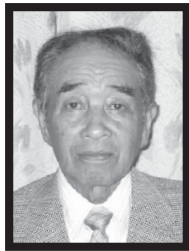
次の土地改良区等が新たな事務所に移転されました。

- 琴丘土地改良区(H24.9.19～)  
〒018-2104  
山本郡三種町鹿渡字中沢新田 34-1  
(TEL)0185-87-2277 (FAX)0185-87-2606
- にかほ市土地改良区(H24.10.15～)  
〒018-0311  
にかほ市金浦字花潟 93-1  
にかほ市役所 金浦庁舎(1階)  
(TEL)0184-74-5496 (FAX)0184-74-5497

### 農林水産省東北農政局長就任のお知らせ

次の方が新たに東北農政局長に就任されました。

- 農林水産省東北農政局長(H24. 9. 11)  
五十嵐 太乙  
(独立行政法人家畜改良センター理事)



## 本会役員の記事

本会理事の安井操(78歳)さんが、急病の為10月7日永眠いたしました。  
安井さんは、平成12年に本会理事として就任、平成18年11月には秋の叙勲・旭日  
単光章(土地改良功労)を受章されました。  
会員の皆様に訃報をお知らせしますとともに、謹んでご冥福をお祈り致します。

## 第2回理事会・第1回役員会が開催される

8月29日(水)、本会の第2回理事会・第1回役員会が本会第1会議室で開催された。

はじめに高員会長が挨拶に立ち、「平成22年度に、農業農村整備事業予算が大幅に削減されて以来、地域農家の期待に応えることが難しい状況にある。平成25年度予算の確保に向け、ほ場整備の計画的推進、水利施設の長寿命化に向けた必要額の確保、農業体質強化基盤整備事業の継続、再生可能エネルギーの加速度的推進、国の水土里情報への積極的関与など、政権与党、各省庁、県選出国会議員への要請活動を行っている。今年度の事業計画の重点事項である水土里情報を活用した業務展開、農業体質強化基盤整備事業に係る会員支援、小水力発電、地域農業マスタープラン等に全力で取り組んでいる」と述べた。

理事会では、平成23年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録について、など4件が審議され、いずれも原案のとおり可決された。

続いて行われた役員会では、平成24年度秋田県土地改良事業功績者表彰の選考について、他1件が協議され、これも原案のとおり議決された。

なお、理事会に先立ち行われた監事会では、平成24年度一般会計補正予算(案)についてが審議され、原案のとおり承認された。

#### <理事会提出議案>

- 第1号 平成23年度事業報告・一般会計収支決算及び財産目録について
- 第2号 平成24年度一般会計補正予算について
- 第3号 農業農村整備事業促進委員会規程の廃止について
- 第4号 秋田県土地改良区統合整備推進協議会規程の一部改正について
- 第5号 会計細則の一部改正について

#### <役員会協議事項>

- 第1号 平成24年度秋田県土地改良事業功績者の選考について
- 第2号 平成25年度新規職員採用について

#### <監事会提出議案>

- 第1号 平成24年度一般会計補正予算(案)について

連 合 会 日 誌

7月31日	平成24年度秋田県農地利用集積推進対策会議	本会「第1会議室」
8月29日	平成24年度換地委員等実務研修	秋田市
9月5日	東北・北海道土地連絡協議会平成24年度第2回事務責任者会議	北海道
9月10日	第1回土地改良区地区別意見交換会(男鹿市・大潟村)	男鹿市
9月10日	平成24年度農地・水保全管理第2回担当者会議	秋田市
9月18日	第1回土地改良区地区別意見交換会(潟上市・八郎潟町ほか)	潟上市
9月20日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
9月21日	全国ため池等整備事業推進協議会総会	東京都
10月3日	第1回土地改良区地区別意見交換会(能代市地区)	能代市
10月9日	平成24年度東北管内農地・水保全管理支払交付金担当者会議(第2回)(~10日)	仙台市
10月19日	平成24年度疏水ネットワーク通常総会及び疏水フォーラムinいんばぬま2012(~20日)	千葉県佐倉市
10月20日	2012語り部交流会inあきた	にかほ市
10月20日	銅屋地区県営ほ場整備事業竣工式典並びに祝賀会	秋田市雄和
.....今後の行事予定.....		
10月25日	平成24年度第3回農業農村工学会東北支部秋田大会(~26日)	秋田市
10月31日	第135回秋田県種苗交換会(~11/6)	能代市
10月31日	第15回全国農業担い手サミットinあきた	秋田市「秋田県立武道館」
11月2日	平成24年度秋田県土地改良事業推進大会	能代市「能代市文化会館」
11月5日	第56回秋田県農業委員大会	能代市
11月9日	秋田支部要請活動	仙台市「東北農政局」
11月16日	大潟土地改良区創立40周年記念式典並びに祝賀会	大潟村
11月21日	第35回全国土地改良大会(沖縄大会)(~23日)	那覇市

第135回秋田県種苗交換会

今年は能代市で開催!!

「農業農村整備フェア」

農業の祭典『第135回秋田県種苗交換会』が、10月31日～11月6日まで能代市を会場に開催されます。期間中、本会では農業農村整備事業のPRのため県内国営事務所、秋田県と共催で参考展示「農業農村整備フェア」を協賛第1会場で開催します。皆様の来場をお待ちしております。

期 間：平成24年10月31日(水)～11月6日(火) 9:00～16:00

場 所：主会場・協賛第1会場(能代市総合体育館2F)

内 容：各種パネル・事業模型の展示、土地改良相談コーナー、カレンダー作成など

共 催：東北農政局(西奥羽土地改良調査管理事務所・平鹿平野農業水利事業所・田沢二期農業水利事業所)、秋田県農林水産部、秋田花まるっGT協議会、水土里ネット秋田

野山の花 エゾオヤマノリンドウ(蝦夷御山竜胆)



開花しないという性質がある。花期は8～10月。『花言葉:あなたの悲しみに寄りそう、誠実』 撮影/井島:2012.9 森吉山

山形県以北の山地の湿った草地や林縁、あるいは火山灰地に生える多年草。草丈は10～30cm程度で茎は直立し、狭披針形の葉が対生する。エゾリンドウの高山型で花は茎頂付近しか付かないのが特徴。天気良く、陽光が一杯に当たっていないと

編 集 後 記

◆ 稔りの秋を迎え、各地で出来秋を祝う祭りが開催される時節となりました。祭りでは古来より神に対する祈りを具体的に表現する「伝統芸能」が行われてまいりました。農山村の年中行事は血縁、地縁に支えられ風土に合った独自の文化を形成して今日に至っております。四季を通じて人々は産土の神を心の拠り所として祭典や諸行事を行い、郷土への誇りと生き甲斐を感じておりました。しかしながら、秋田県の高齢化率は、全国一。少子高齢化率が顕著な時代を迎え、その村にしかない貴重な伝統芸能が絶える集落も少なくない。今まさに「伝統文化の危機」を迎えている中であって、地域の「相互扶助力の低下」も著しいことから、次代の担い手となる子どもたちが民俗芸能や伝統文化を学ぶ良い機会が来ることを願っています。 広報・渉外班 ◆高橋(康)記

※本印刷用紙は、大昭和板紙秋田工場で生産された「地産池消製品」を使用しております。